

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所
施設検査成績書

原子力規制委員会

施設検査成績書

申請者及び事業所名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所		
検査範囲	別紙-1のとおり		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地33		
申請年月日及び 申請番号	令和元年5月10日 令01原機(P)001		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
材料検査	令和元年10月11日	良	別紙-2及び別紙-3のとおり
外観検査	令和元年10月11日	良	別紙-4及び別紙-5のとおり
閉じ込め検査	令和元年10月11日	良	別紙-6及び別紙-7のとおり
保管能力検査	令和元年10月11日	良	別紙-8及び別紙-9のとおり
原子力施設検査官	早川善也 佐山 幸 ^{環境技官} 清水俊博		
検査立会責任者 (役職名)	<div style="border: 1px dashed black; width: 150px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div> (環境管理課長)		
備考			

○検査範囲

プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、

使用施設の位置、構造及び設備のうち、

使用施設の構造のうち、

プルトニウム廃棄物処理開発施設（管理区域境界閉止壁）

廃棄施設の位置、構造及び設備のうち、

固体廃棄施設のうち、

固体廃棄施設の構造のうち、

第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設（3階保管室の一部）

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日：令和元年 10 月 11 日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所

検査項目：材料検査

検査範囲	プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の構造のうち、 プルトニウム廃棄物処理開発施設 (管理区域境界閉止壁)		
	確 認 事 項	結 果	確認方法
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを 確認する。		良	記録
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認 する。		良	記録

材 料 検 査 記 録

検査年月日：令和元年 10 月 11 日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所

検査範囲	プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の構造のうち、 プルトニウム廃棄物処理開発施設 (管理区域境界閉止壁)		
判 定 基 準	結 果	検 査 方 法	
材料が施設検査実施要領書表-1のとおりである こと。	良	記録	
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-11に示す。			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日：令和元 年 10 月 11 日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所

検査項目：外観検査

検査範囲	プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の構造のうち、 プルトニウム廃棄物処理開発施設 (管理区域境界閉止壁)		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	

外 観 検 査 記 録

検査年月日：令和元年 10 月 11 日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所

検査範囲	プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の構造のうち、 プルトニウム廃棄物処理開発施設 (管理区域境界閉止壁)		
判 定 基 準		結 果	検査方法
管理区域境界閉止壁が設置され、人がみだりに管理区域内に立ち入れない構造となっていること、及び汚染が除去しやすい仕上げであり、その外観に、有害な傷、変形等がないこと。		良	立会
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-11に示す。			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日：令和元年 10 月 11 日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所

検査項目：閉じ込め検査

検査範囲	プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の構造のうち、 プルトニウム廃棄物処理開発施設 (管理区域境界閉止壁)		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
(3) 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙－11に示す。			

閉じ込め検査記録

検査年月日：令和元年 10 月 11 日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所

検査範囲	プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の構造のうち、 ・プルトニウム廃棄物処理開発施設 (管理区域境界閉止壁)		
判定基準		結果	検査方法
設置エリアを負圧状態に維持できること。		良	立会
<p>備考：</p> <ul style="list-style-type: none"> 立会検査で使用した検査用計器を別紙-10に示す。 負圧指示計 (W081) の指示値：<u>30~50 Pa</u> 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-11に示す。 			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日： 令和元年 10 月 11 日

検査場所： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所

検査項目：保管能力検査

検査範囲	プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、 廃棄施設の位置、構造及び設備のうち、 固体廃棄施設のうち、 固体廃棄施設の構造のうち、 第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設 (3階保管室の一部)		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
(3) 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙－ 1 1 に示す。			

保管能力検査記録

検査年月日：令和元年 10月 11日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所

検査範囲	プルトニウム廃棄物処理開発施設のうち、 廃棄施設の位置、構造及び設備のうち、 固体廃棄施設のうち、 固体廃棄施設の構造のうち、 第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設 (3階保管室の一部)		
判定基準	結果	検査方法	
面積が771.85m ² 以上であること。	良	記録	
備考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-11に示す。			

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年10月11日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所

1) 本設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
閉じ込め 検査	ローリングエリア ～大気の大気圧 指示計	DPI-955	0～100 Pa	±2.5% FS	2018年11月20日	
					2019年11月19日	

2) 本設計器以外の計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	

記 録 一 覧 表

検査年月日：令和元年 10 月 11 日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考
1	プルトニウム廃棄物処理開発施設への管理区域境界閉止壁の設置及び第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設3階保管室の一部の固体廃棄施設への変更 自主検査要領書	LG-WI-02-R0101 R元. 9. 10	
2	プルトニウム廃棄物処理開発施設への管理区域境界閉止壁の設置及び第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設3階保管室の一部の固体廃棄施設への変更 自主検査成績書	LG-WI-00-RR0101 令和元年9月11日	
3	鋼材証明書 コンクリート壁の設置作業	3002C05590 平成31年2月26日	
4	検査・試験成績書 コンクリート壁の設置作業	3002C05590 平成31年3月27日	
5	測定機器リスト	環境管理課 令和元年8月8日	
6	PWTF、PWSF及び第二PWSF給排気設備等点検及び補修作業 作業報告書1/3	3002C01415-SD-01 平成31年2月25日	
7	検査・試験員 認定台帳	環境管理課 令和元年9月4日	